

2011 年 8 月の東北地方の天候

【 8 月の特徴 】

○前半の少雨

○後半の寡照

(1) 2011 年 8 月の概況

月の前半は高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が続き、降水量は少なかった。上旬のはじめはオホーツク海高気圧の影響を受け、東北太平洋側を中心に低温となった。月の後半は太平洋高気圧の張り出しが弱まり、前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、下旬のはじめは寒気の影響で低温となった。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれ晴れの日が多く、降水量はかなり少なかった。期間のはじめはオホーツク海高気圧が張り出し、東北太平洋側を中心にヤマセの影響を受けたため曇りで低温となった。7 日と 8 日は大気の状態が不安定となり東北太平洋側で大雨となったところがあった。10 日は気圧の谷の影響で、秋田県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

中旬：期間の前半は高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が多かったが、期間の後半は前線が東北地方をゆっくり南下したため、曇りや雨の日が多かった。11 日には、仙台で 27.1℃、八戸で 26.5℃の日最低気温を観測し、8 月としては日最低気温の高い方からの 1 位の値を更新した。16 日から 18 日にかけて前線の活動が活発になったため、東北日本海側を中心に大雨となり、秋田県と山形県では日降水量が 100 ミリを超えたところがあった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。

下旬：期間の前半は本州の南岸から東北地方にかけて前線が北上したため、雨の日が続いた。また、期間のはじめは寒気の影響で低温となった。期間の後半は高気圧におおわれ、東北北部を中心に晴れた。前線の影響で、21 日から 22 日にかけては東北太平洋側で、23 日から 25 日にかけては東北日本海側を中心に大雨となったところがあった。31 日は気圧の谷の影響で、東北北部で大雨となったところがあった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

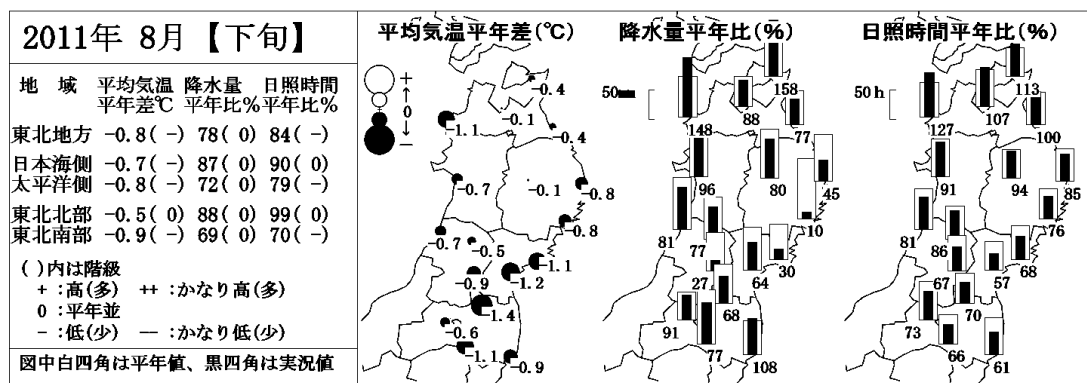
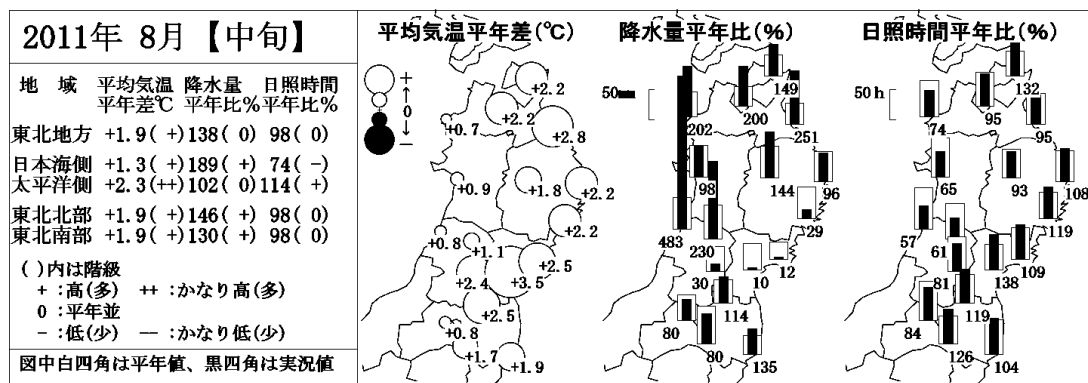
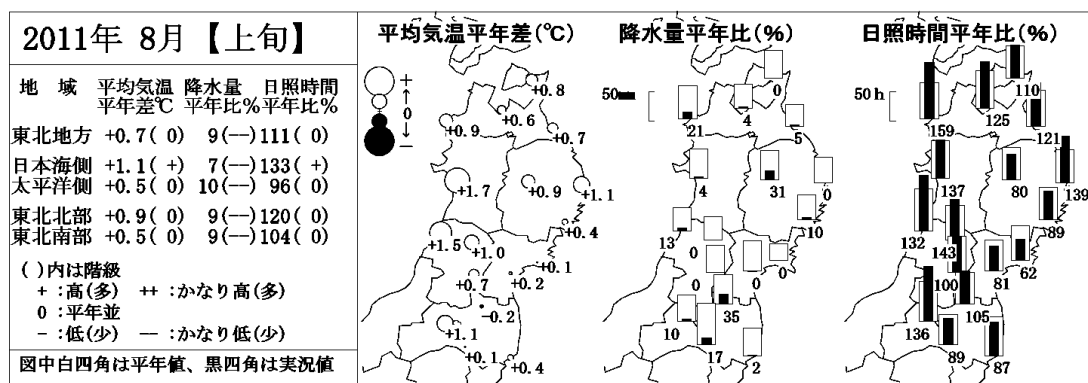
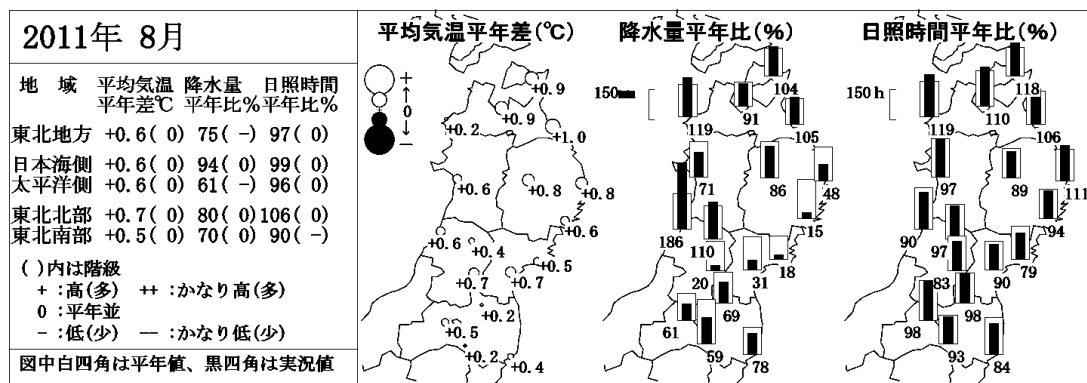
(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1981～2010 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2011年8月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011 年 8 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	24.2	(+0.9)	+	112.0	(91)	○	10	197.5	(110)	+
深 浦	23.4	(+0.2)	○	196.5	(119)	+	9	214.1	(119)	+
む っ	22.6	(+0.9)	○	149.0	(104)	○	9	170.6	(118)	○
八 戸	23.5	(+1.0)	+	135.5	(105)	○	10	177.4	(106)	○
秋 田	25.5	(+0.6)	+	125.0	(71)	○	8	188.0	(97)	○
盛 岡	24.2)	(+0.8)	+	157.5)	(86)	○	11)	132.5)	(89)	○
大 船 渡	23.6	(+0.6)	○	30.0	(15)	—*	7	139.5	(94)	○
宮 古	23.0	(+0.8)	+	83.0	(48)	—	6	178.4	(111)	○
仙 台	24.9	(+0.7)	+	51.0	(31)	—	6	130.4	(90)	○
石 巻	24.0	(+0.5)	○	21.0	(18)	—	3	132.0	(79)	—
山 形	25.6	(+0.7)	+	30.0	(20)	—*	7	147.9)	(83)	—
新 庄	24.5	(+0.4)	○	184.0	(110)	○	12	167.1	(97)	○
酒 田	25.9)	(+0.6)	○	332.5)	(186)	+	9	187.6)	(90)	—
福 島	25.6	(+0.2)	○	106.5	(69)	○	11	149.2	(98)	○
若 松	25.5	(+0.5)	+	82.0	(61)	○	11	195.2	(98)	○
白 河	23.7	(+0.2)	○	132.0	(59)	—	15	135.1	(93)	○
小 名 浜	24.6	(+0.4)	○	105.5	(78)	○	7	155.8	(84)	—

(注) 1. 平年値は 1981～2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

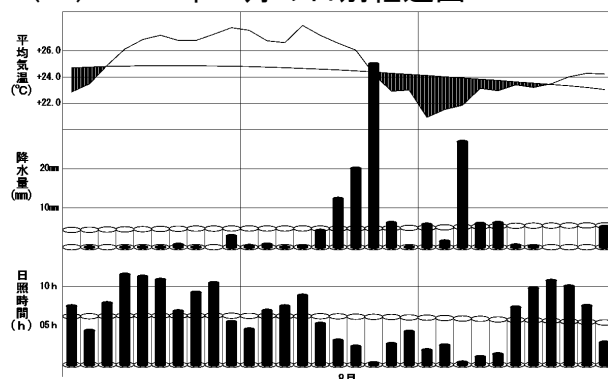
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

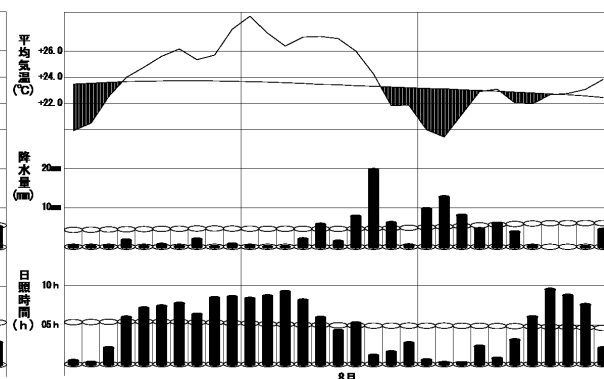
3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

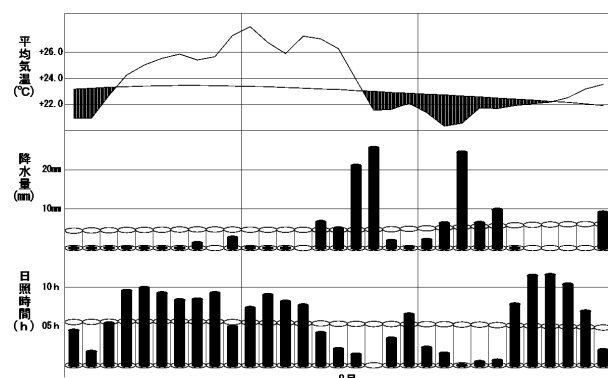
(5) 2011 年 8 月の日別経過図



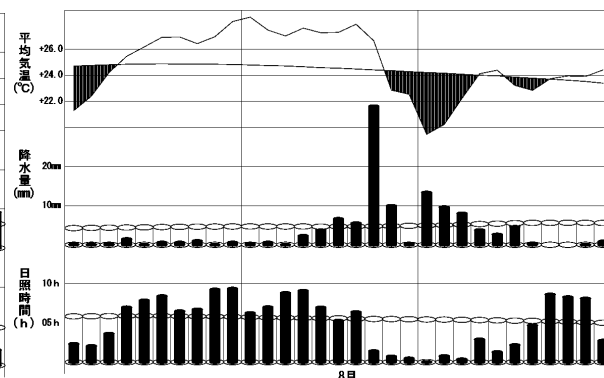
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東北北部の日別経過図



東北南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2011 年 8 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新
3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
3	大船渡	30.0	15	22.0（1997）	1963	196.5

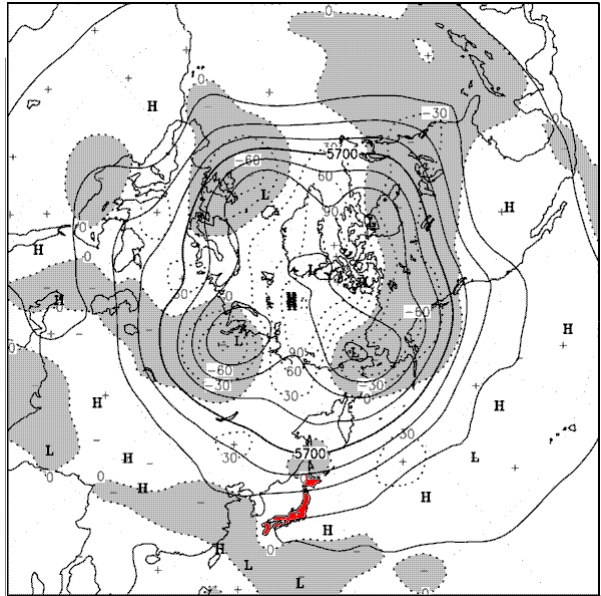
月間日照時間多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

(7) 2011 年 8 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、日本付近から太平洋にかけての北緯 30 度から北緯 40 度帯は正偏差で、本州付近は正偏差におおわれた。北極付近は顕著な正偏差となった一方、北緯 50 度から北緯 60 度帯の所々では負偏差で、寒気が流れ込んだ。

東北地方は、上旬のはじめにオホーツク海高気圧の影響を受け、東北太平洋側を中心に低温となった。その後は太平洋高気圧が強まり、晴れて気温が高くなったが、中旬の中頃からは前線が停滞しぐずついた天気となった。



2011 年 8 月の平均 500hPa 高度

実線は高度(m)、間隔 60m。点線は偏差(m)、間隔 30m。
陰影部は負偏差 (寒気に対応)